

第2学年 体育科学習指導案

1 単元名 「鉄棒遊び・竹馬遊び」 (7時間計画)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

- 鉄棒を使ってぶら下がったり、いろいろな上がり方や回り方、おり方をしたりして楽しむ運動である。また、できない技ができるようになったとき、大きな喜びが得られる運動である。友達と遊び方を決めて遊ぶことも楽しい運動である。
- 竹馬を操作してバランスをとり、前後左右に歩くことが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性

A. 運動の特性にふれる楽しさ体験の状況

本学級の子どもは、1年生の鉄棒遊びでは、鉄棒にぶら下がって動物になったり、鉄棒の上で体を支持したり、ジャングルジムで回ったりしながら楽しむなどの経験をしている。事前アンケートでは、「鉄棒遊びは好きですか」の問いには「好き」23名、「きれい」6名だった。鉄棒遊びで好きと感じている理由として、「回るのがおもしろいから」「いろいろな技があるから」「練習したらできるようになるから」などが多かった。きれいな理由としては、「むずかしくてできないから」「回るのがきれいだから」「こわいから」などであった。

B. 技術の習得状況

鉄棒に両手、あるいは片手でつかまりぶら下がったり、ぶら下がった状態から体を振る動きについては、すべての子どもが経験しており、ほとんどの子どもができています。また、鉄棒遊びの活動につながる雲梯や登り棒も、1年生のときの学習において経験している。しかし、体を振って最後まで雲梯を渡りきったり、登り棒の上の方まで登りきったりできない子どもが多いようである。鉄棒に対し、精神的、技術的なことで苦手意識をもっている子どももいる。

C. 学び方に関する学習経験の状況

○ 学習の進め方

2年生初めのリズム遊びやキックベースボールでは、教師の指示のもと学習の準備や活動、自己評価、片付けという1時間の学習を進めることができていた。

○ めあて

リズム遊びでは「友だちと楽しくおどりたい」、キックベースボールでは「思い切りボールを蹴りたい」などのめあてをもって学習に臨む姿が見られたが、めあてを意識して、1時間継続して学習に取り組むことは、まだむずかしい状況である。

○ 場やルールの工夫

リズム遊びでは、自分の好きな曲を選んだり友だちの動きをまねしたりして取り組む姿、キックベースボールでは、守備の際、前の方で守りすぎないように線を引いたり（線より前で守ってはいけない）、点数が入りにくい場合には墨間を短くしたりする姿などが見られ、

「工夫すればもっと楽しくなる」ということを感じている。

○ 友達とのかかわり

リズム遊びやキックベースボールでは、友達と協力して準備・後片づけをしたり、教え合ったり練習したりする姿が見られた。しかし、グループやチームで学習をする場合、発言力のある子どもの意見で活動が進められたり、勝敗にとられるあまり、個人プレーやグループ内での意見の食い違いなども見られた。

3 学習を進めるにあたって

本学級の子どもは、「鉄棒遊び」を、遊んで楽しむというより、「技ができること」として捉えているイメージが強い。そこで本単元では、自分ができる動きを楽しんだり、そこから遊びを見つけたり、場を工夫したり、友達と一緒に活動したりして、鉄棒で遊ぶ楽しさを十分味わわせたい。鉄棒を使った遊び感覚の運動に繰り返し取り組むことを通して、自分の体重を両腕で支える、逆さになる、回転するなどの運動を楽しく身に付けさせたい。さらに、友達とのかかわりの中で、順番を待つ、応援する、などの約束を学習することを通して、コミュニケーション力を高め、仲間意識を育てたい。

学習過程としては、今もっている力で楽しむ、めあて1に重点を置き、単元の前半、第4時までめあて1だけで1時間とるが、意欲の持続という点から、竹馬遊びとの組み合わせ単元とする。後半、第5時からめあて2になるが、いきなりめあて2の活動に入るのではなく、めあて1でやったことを経験してから取り組ませるようにする。めあて1では、技と遊び方の中から自由に選び、組み合わせたり、工夫してつくりかえたりできるようにする。そのことで、どの子どもにも運動の楽しさが実感できるようにしたい。

めあて2では、友達から教えてもらいながら新しい技に挑戦したり、めあて1で経験していない楽しみ方や遊び方にも挑戦し、楽しく遊べるようにする。

支援としては、以下のような手だてを考える。

- 場づくりの工夫をするために、ケンステップ、跳び箱、逆上がり補助板、補助パッド、帯などの準備をし、動きや遊びの幅を広げるようにする。
- 技と遊び方のメニュー表を提示して、友達と一緒に回数や距離を競ったり、調子を合わせて楽しむなど、遊び方を工夫する楽しさを味わわせるようにする。
- マットを準備することで、鉄棒から「落ちる」という恐怖感を取り除くようにする。

4 学習のねらいとみちすじ

(1) 学習のねらい

自分ができる遊びやできそうな遊びで鉄棒遊びを楽しませる。

(2) 学習のみちすじ

めあて1 自分ができる鉄棒遊びで楽しく遊ぼう。

めあて2 まだ経験していない鉄棒遊びに挑戦して楽しく遊ぼう。

6 本時

平成18年6月

7 本時のねらい

- できる技や遊び方を組み合わせて楽しく遊ぶ。
- 約束を守って仲良く遊ぶ。

8 本時の指導にあたって

本時は、鉄棒遊びの3時間目である。

前時までに子どもは、自分ができる鉄棒遊びを2時間楽しんでいる。できる技を繰り返し行っている子ども（1人で、又は友達と）、できる技と遊び方を組み合わせて遊んでいる子ども（1人で、又は友達と）、と様々である。また、メニュー表に載っていない技や遊び方を考えて楽しんでいる子どももいる。

本時でも、子ども一人一人が自分なりの遊び方を工夫しながら、楽しく遊べるようにさせたい。

そこで、遊び方に目が向いていない子どもには、遊び方を紹介することで、今までに味わっていない楽しさを体験させるようにする。また、遊び方に目が向いている子どもには、今やっていることで、より楽しさが深まり、より上達できるような支援を行っていく。例えば、距離に挑戦している子どもには、より遠くへ跳ぶことに挑戦させるような声かけやできた時には賞賛などの支援を行っていきたい。

また、技と遊び方については、数を競わず、1つ1つの動きにじっくり取り組めるよう、それぞれ4つまでとする。

9 準備

学習ボード、学習ノート、マット、ケンステップ、マーカーコーン、補助パッド

10 展開 (3/7)

時間	学 習 活 動 と 内 容	支 援
0	1 竹馬遊びをする。	○ 竹馬にうまく乗れない子どもには、かかとつきの低い竹馬や三角木馬を使わせ、恐怖感を取り除いたり、バランス感覚を身に付けさせたりする。
1 0	2 学習の準備と本時のめあてを確認する。 ○ 本時のめあてを確認する。 ○ 協力して場づくりをする。	○ 竹馬がうまくできる子どもには、高さを変えたり、コーンでつくったコースにも挑戦させたり、前だけでなく横にも進んだりすることを助言する。 ○ 今日取り組む技と遊び方を決めて学習ノートに○を記入させる。 ○ 記入が終わった子どもから場づくりをさせ、場が整ってから鉄棒遊びをさせる。 ○ 協力して場づくりができているところを賞賛する。
2 0	3 鉄棒遊びをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">めあて1 じぶんができるてつぼうあそびで 楽しくあそぼう。</div> ○ 自分の遊びたい鉄棒の場で遊ぶ。 ・ 一人で、友達と ・ できる技や遊び方を組み合わせて遊ぶ。	○ 楽しさが深まるように次の視点で遊ばせる。 ・ じゃんけんしながら ・ 合わせて ・ 距離に挑戦させる ・ 時間に挑戦させる ・ 回数に挑戦させる ・ 高さに挑戦させる ・ つなげて (組み合わせて) ○ 遊び方に挑戦している子どもを励ましたり賞賛したりする。
4 0	4 学習のまとめと後片付けをする。 ○ 学習をふり返る。 ・ 楽しかったことやつけ加えた技・遊び方などを発表する。 ・ 学習ノートに記入する。 ○ 協力して、後片付けをする。	○ 楽しかったことについて発表させる。困ったこともあれば出させる。必要に応じて実演させる。

5 学習の計画

時間	1	2	③	4	5	6	7
0 10 20	<p>1 学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のねらいと進め方を知る。 ○ 学習の場,約束,安全面について知る。 ○ 学習ノートの使い方を知る。 <p>2 竹馬遊びをする。</p> <p>3 学習の準備と本時のめあてを確認する。</p> <p>4 鉄棒遊びをする。</p>	<p>1 竹馬遊びをする。</p> <p>2 学習の準備と本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のめあてを確認する。 ○ 協力して場づくりをする。 <p>3 鉄棒遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の遊びたい鉄棒の場で遊ぶ。 			<p>1 学習の準備と本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のめあてを確認する。 ○ 協力して場づくりをする。 <p>2 鉄棒遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ めあて1で取り組んだ技や遊び方で楽しむ。 ○ めあて2の活動をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて2 まだけいけんしていないてつぼうあそびにちょうせんして楽しもう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の遊びたい鉄棒の場で遊ぶ。 		
40 45	<p>5 学習のまとめと後片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習をふり返る。(楽しかったこと・困ったことなどの交流) ○ 協力して、後片づけをする。 				<p>3 学習のまとめと後片づけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習をふり返る。(できるようになったこと) ○ 協力して、後片付けをする。 		

めあて1 じぶんができるてつぼうあそびで楽しくあそぼう